

移行

移行は騎乗中あらゆる際においても行われる。すなわち、3種の歩法および歩度変換、または一つ目の課目から次の課目へ移るときなどである。そしてその移行の際、必ず減却扶助が伴う。さらにその移行が速やかに行われることによって、馬の動きに流れが生じてくる。このように馬の動きが無理なくなめらかにを行うためには、適確な騎手の扶助操作と馬体の柔軟性、透過性が必要とされる。すなわち、絶対的な馬の騎手の扶助に対する従順性が必要であり、一方騎手の柔軟性とバランスおよび感覚の良さが必要不可欠である。それによって流れのあるなめらかな移行が可能になる。

我々は単にひとつだけの運動をするわけではなく、ひとつの運動から次の運動へと必ず移っていくはずである。そのためには、その前の運動が無理なく、騎手の扶助に良く従って行われることによって、その次の運動へ移り易く、その移行がなめらかに行っていることによって、その次の運動が同じように、またはより良くできるようになる。そのためには上手に馬を手の内に入れながら乗る必要があり、次の運動に入るための準備、すなわち半減却扶助を通じてその準備を十分にすることによって、次への運動へ移り易くなるのである。

逆に、悪い状態で次の運動へ移行した場合は、移行のみならず、次の運動そのものまでも良く実行できない。それ故、我々は馬の騎乗した瞬間から、馬の動きを尊重しながら慎重に騎乗していくべきである。そのためには、すでに述べた「訓練段階8点」の内容を良く理解しながら騎乗すべきである。ドイツ人のシュタインブレヒトという人の本に「馬を推進せよ！馬をまっすぐにせよ！」という言葉がある。また「推進は抑制より勝る」という言葉もあるが、まさにその通りである。

そのように忠実に騎乗された馬こそが最も乗り易く、最も正確な運動を実施でき得る。我々にとっての醍醐味は競技で勝つことのみではなく、いかに気持ち良く乗馬感覚を味わえるかにある。それによって人はより乗馬の楽しさを知り、乗馬を愛するようになる。

人は気持ち良く騎乗できる馬を通じて乗馬の楽しさを知り、それが最終的には勝利を手中に収めることにつながる。そのためには秩序正しいギムナスティック・トレーニングによって馬を調教することが大切であり、それによってのみ馬を自由に乗りこなすことができるようになる。そのためには絶対的な馬の把握が必要で、それによって移行が速やかにかつ、なめらかに実施できるものである。絶対的な馬の把握とは、決して強制でなく、騎手の忠実性と従順性である。それによって馬は正確な運動を実施できるようになる。

D S Tコラムへのご質問・ご感想をお待ちしております。